



全日本自治団体労働組合 北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 谷川 広美



新規加盟が承認された、名寄福祉事業団労組

政権交代にむけたたたかう

当面 労働基本権・地域医療署名・反原発 地公三単産統合・全国自治研集会

道本部は、6月2、3日、北海道自治労会館で、第108回中央委員会を開き中央委員、傍聴を含む359人(うち女性30人/8.3%)が参加した。委員会では、08春闘中間総括案、組織強化第11次長期計画討議案、地公三単産の組織統合と名称問題への対応討議案など、当面の闘争方針を決定した。また、「フルサーマル計画」と「公立病院改革」に関する決議を採択した。

経過報告

山上書記長が、春闘、

橋下知事のテレビ露出が増えている。公共サービスの切り捨て、人件費の削減など。職員組合と対抗姿勢を崩さなかった知事が突然の柔らかな口調に意図が透けて見えた。案の定、職員を自衛隊体験入隊させたい「本音が出たね」

朝風

東北地方を中心とした地震。自然災害の恐怖。地球は私たちの日常の暮らしで痛めつけられ悲鳴をあげているのか? また、大きな地震が予想されている。北海道も危ない。何より危ないのが地震による原発事故。人類の破滅だ。



村上 隆行 (帯広市労連)

嘱託労への有期雇用制度導入に対する、道本部からの支援に感謝。H13年度以降の職員への適用はしないことを確認していたが、当局側から労使交渉もなしに強行姿勢で提案してきた。非常に厳しい状況だが、非常勤職員の不安定雇用は、安心・安全の市民サービス低下につながる。引き続き



崎田 謙二 (札幌市職連)

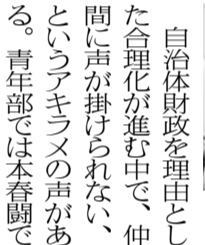
以前、党代表選挙で峰崎参議は労働組合に添わない方を応援していた。我々も後援会活動をしっかり取り組んでいるのでぜひ労働組合に合った方を推していただきたい。



山上書記長

道本部答弁

青年部のこの間の取り組みは、長引く賃金合理化、新規不採用の中でどう活動を進めていくか? 苦労も多いと思うが、青年コースでは学習を深めたいと思う。また、財政支援について、自治労運動の次代を担う宝である。よく相談していきたい。地本・単組においてもこの努力をお願いしたい。民主党代表選挙について峰崎参議に対する率直な話があった。党のことにして労働組合がどこまで物を申すか難しい面もあるが、組織内議員は自治労方針に沿って活動してもらおうが基本である。



高橋 留明 (地本)

自治体財政を理由とした合理化が進む中で、仲間が声掛けられない、というアキマの声がある。青年部では本春闘で

経過に対する質疑・討論

「集まる場をつくる」という目標を取り組んだ。青年コースでは、要求書づくり、模擬団交、討論を通して仲間の成長を感じた。青年女性交流集にも結果し、今後も取り組みを進める。青年部への支援をお願いする。

委員長あいさつ

三浦 正道



08春闘は、経営側が賃上げを容認の報道、福田総理も賃上げを求めた。しかし、昨年を上回ったものの原油高騰などで厳しい結果となった。自治労も総務大臣交渉をはじめ、取り組みを進めたが、各単組では07確定から当初予算にかけて厳しい闘いを強いられ、春闘は不十分な取り組み結果となった。

公務員の労働基本権問題は、衆議院で可決され、参議院審議中だが、福田総理の失言などで、大きく後退している。本部中央委員会でも、今後1〜2年での成立をめざし、しっかり取り組みを確保認してきた。地域医療を守るた人署名を進めている。今後も組合員のみなさんの結果をお願いする。地公三単産の統合問題、反戦・反原発の取り組み、また、全国自治研集会などの取り組みがある中、年内に総選挙も予想される。政権交代に向けてもたたかう決意を明らかにしよう。

私の視点

道庁の働く姿―問われる支庁制度

北海道議会議員 木村 峰行



地方分権の推進は、国から道、道から市町村へ、住民により身近な行政を基本に、これまで国における道州制と基礎的自治体である市町村の自治権の強化が目標となつてい。この間、道においては、道の財政危機による、単独事業や施策の廃止、公共事業の縮減、人件費の大幅削減など、いわゆる大幅財政削減が進められている。一方、地方分権の現状は、一向に進まない。権限の移譲、市町村体力の低下、道内における経済を

道が示した(案)に賛同の音が皆無なのは何故か。それは、分権改革として道が進めてきた地方重視の視点から一転、地方切り捨てに豹変した事にある。しかも、市町村や地域の意向を組み入れない、道のかたくなな支庁制度の合理化対策一辺倒の姿勢にある。国・道・市町村の自治の姿が不透明な今日、原点に立ち戻り、道民に北海道庁の働く姿を明らかにし、分権型社会の流れの中で改めて支庁制度を議論すべきである。

JICHIRO スケジュール

2008年6月

- 19日(木) 都市連夏期交流集会(～20日、函館市)
- 23日(月) 第1回厚生対策委員会(札幌市)
- 24日(火) 道本部第19回執行委員会(札幌市)
- 労働金庫第55回総代会(札幌市)
- 26日(木) 自治労保健医療集会(～28日、松江市)
- 27日(金) 道平和運動フォーラム第9回定期総会(札幌市)
- 28日(土) 臨時・非常勤等職員連絡会議総会(札幌市)

道本部ホームページ
自治労北海道 [検索](#)
組合員専用ページは ユーザー名: douhonbu
パスワード: jh2007

福祉 介護 人材の確保を! 公開シンポジウム

7月19日(土) 13:30～16:40
北海道自治労会館 5階ホール

基調講演 「介護元気で日本あつ晴れ」
講師: 沖藤 典子 さん (作家・介護ジャーナリスト)
パネルディスカッション

主催: 福祉・介護人材の確保を! 公開シンポジウム実行委員会

新規加盟組合

5月9日、30人で結成。介護職場で仕事の責任が増している。安心して働ける職場、良いサービスと、加入率100%をめざし、多くの仲間と知り合い情報交換をしていく。(上記写真)

名寄市社会福祉事業団職員労組

佐々木書記長

